

番号	2-2-3	表題	第二沈殿池の脱窒について	
内容	<p>中川水再生センターにはA20、A0、標準法の3つの異なる処理方式があるが、標準法処理水の全窒素濃度は特に低い値となっている。これまでの調査で、標準法反応槽では好気槽内脱窒が進むことが判明したが、窒素濃度が低い要因は他にもあるのではないかと考え、今回は第二沈殿池に注目して調査を行った。</p> <p>調査の結果、標準法の二沈・下段流出水では、反応槽最終回路と比較してNO_x-Nが低下し、P04-Pが上昇していることがわかった。標準法の二沈（特に下段）では、汚泥が浮遊・分散している状態が長く、脱窒反応が進んで嫌氣的な雰囲気となり、りんが溶出が起きていると推測された。</p> <p>標準法の二沈・下段での脱窒は、当センターの放流水窒素負荷量を10%程度削減する大きな効果があることがわかった。</p>			
キーワード	第二沈殿池、脱窒、りん、窒素、SVI、トレーサー			
処理区名		位置区分	水再生センター、処理水、放流水	
職種区分	環境検査	施策区分		
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和4年度	全体期間		
担当部署	東部第二下水道事務所 中川水再生センター 水質管理担当			
発表履歴	局内	令和4年度 水質技術研究発表会		
	局外			
調査方法	直営調査			
関連情報				